

を受賞したが、市民は実感を持ってない。市民生活により密接な分野において、I

工の活用を図るべきだ。
市長 市民サービス向上のため、適切な活用をする。

アスベスト市民の健康と 命を守る対策を



日本共産党 栗原 議員

議員 アスベストの健康被害が明らかになるにつれ、市民の不安は大きくなってきている。アスベストは日常生活の身近なところであり、知らない間に接している危険性が大きい。危険性を認識しながら、長期にわたって使用を容認してきた政府の責任は重大だ。我が議員団では、市長に対し、アスベスト（石綿）問題について、市民の安全を守る対策をしよう申し入れをした。市民の健康と命を守るのは、基礎的自治体である市の役割だ。全ての健康被害者の保護と救済、そして一刻も早いアスベストの全面禁止・完全撤去と健康被害拡大の防止対策を強く国に求めるべきである。市の取り組みを聞く。

市長 国・都に、アスベスト対策の実施や、財政的な措置を強く要請していく。市として、市民の不安を払しょくするような取り組みもしていきたい。

議員 市の公共施設のアスベスト調査基準は、市民の安全を守る上で十分とは言えない。石綿含有率1%以下のものに対しても安全対策が必要だ。所見を問う。
市長 アスベスト対策基本方針では、1%を超える場合、除去を前提として計画的に行うとしている。施設の使用形態の状況によっては、1%以下でも対応する必要があることも考えられる。公共施設の調査結果を待つて判断をしたい。

議員 市が実施するアスベスト対策への財政支援とともに、民間のアスベスト対策についても、助成措置を求める必要がある。議員団の申し入れに対し、市からは、市が実施するアスベスト対策への財政支援の働きかけについて、関係諸機関と検討するとの回答があった。その後の対応を聞く。
市長 東京都市長会で、アスベスト対策について協議し、都に要望書を提出した。その他の質問は市内プールのバリアフリー化について

税制 市民のくらしを 守る政策を



日本共産党 岩田 議員

議員 個人市民税の税制改正により、今年と来年で収入が増えなくても、制度の

改正で、市民税の増税になる額は10億円を超える。また、非課税から課税対象と

なり、国民健康保険税や介護保険料、利用料などに影響がおよぶ市民もいる。大変深刻な問題である。必死に生活をしている市民に対し、市は特別な対応・対策をとっていくべきである。市の対応を聞く。

市長 税制改正の影響が、極端に一部の層に激変として現れないようなあり方を検討していきたい。

議員 現行の制度では、課税・非課税の区分により、受けられる福祉サービスに差が出てくる。非課税の市民だから受けられる医療や福祉の制度はたくさんある。非課税が課税かで分ける現行の制度は限界にきているのではないか。収入が所得を基準とする仕組みが、今後は必要になってくる。検討できないか。

健康福祉部長 非常に難しい課題だが、平成18年度に向けて研究してみたい。
議員 市民負担が増えるということは、市は増収になるということだ。増収分の税金を政策的にどう使用するつもりか。

市長 選択と集中により、施策の重点化を図る。第3

「虫」舞い飛ぶ まちづくり



政新クラブ 伊藤 議員

議員 緑と水の公園都市を目指す三鷹にとって、虫の飛び交うまちづくりは、高環境のシンボルと考える。究極の目的は、市内を流れる4つの河川すべてでの虫の自然発生だ。カワナナや

虫の幼虫を養殖する拠点施

など検討していきたい。

議員 子どもが生きる力を身につけるためには、体験学習は欠かせない。特に自然との触れ合いは教育の原点である。虫に特化した体験学習や自然との触れ合いをテーマにしたユニークな取り組みを検討せよ。

教育長 自然とかわる体験活動についてさらに推進していきたい。第七中学校区での虫のかかわりを全小・中学校で活用してもらえよう考えていきたい。

議員 三鷹が目指すまちの将来像は、都市としての利便性と心安らぐ住環境の共生だと考える。虫は、自然と人間の共生による豊かな住環境の象徴であり、インテリジェント・コミュニティ・フォーラムでの世界トップワンの受賞は、民学産公との協働のまちづくりの成果と考える。所見を問う。

市長 IT技術を生かしながら、市民にとってかけがえのない大切な価値を自然環境・住環境の中に残し、市民サービスを豊かなものにしていきたい。



福祉全般について相談できる総合窓口への要望は高い。市の福祉相談窓口

産業政策 新たな視点での 観光事業 活性化に努めよ



政新クラブ 白鳥 議員

議員 昨今の経済状況は、「踊り場」から抜け出したという評価があるが、市内業者の状況は大きな変化が見られない。市町村レベルでは効果的な経済施策を実施することは難しいが、自治体としての取り組みが必要である。①市内の景気動向を把握する手法はあるか

市長 ①景況調査結果や事業資金あつせん融資の動向がある②好転の兆しは見えてるが、依然厳しい状況が続いていると認識している。

議員 ニートと呼ばれる、働かない若者の存在もクロースアップされてきた。①市内の小・中学校で、授業で働くことに関する教育を実施しているケースはあるか②この課題への商工会の取り組みを把握しているか

市長 ①三鷹の良き、資源を再確認し、外に伝え、市民に愛着を持ってもらうのが観光事業の方向性である②三鷹ならではの観光が実現できる組織にしたい。

教員の資質向上を図り 三鷹独自の教育実現を



政新クラブ 後藤 議員

議員 学校教育の成否は、教員の力量に大きく左右される。特に本市では、コミュニティスクールといった教育ビジョンを理解し、そのための教育プログラムを実行できるコーディネーター能力をもった教員が求められる。①近隣で教員の人事権を持つような「地域立学校」が出てくる中、本市の教育方針にふさわしい教員の確保への工夫と今後の方針を伺う②本市で、指導力不足と認定された教員の数を聞く③教員の力量の重要性についての所見を問う。

教育長 ①都に、本市の教育方針にふさわしい教員の配置を要請している。学校運営協議会が設置された場合、相当前進するものと考える②現在、1名である。
教育部長 ③指導力だけでなく、外部との調整能力な

議員 近年、適正処理が困難な廃棄物が増加し、中間処理施設や最終処分場への負荷が増大している。本市では「三鷹市ごみ処理総合計画2010」を策定し、ごみの減量やリサイクルを積極的に推進してきた。ごみの発生抑制をさらに進めるため、排出者責任と拡大生産者責任の考え方を施策

循環型社会の実現へ 何をすべきか



政新クラブ 穴戸 議員

に反映させるべきだ。家庭系ごみの有料化は、市民がごみの排出者としての責任を持ち、減量・リサイクルに努力するシステムだと考える。所見を問う。

市長 「有料化はごみ減量等に一定の効果がある」との検討市民会議の答申を尊重する。新しい分別収集の成果を検証した上で、慎重